

第8回（2019年度）

公益社団法人福島県診療放射線技師会定時総会議案書

期 日 2019年5月25日（土）13:30-18:00

場 所 かんぼの宿いわき

住所 〒970-0103 いわき市平藤間字柴崎60

Tel 0246-39-2670

## 総会次第

司 会 浜通地区

一、開会の辞

副会長 草野 義直

二、会長挨拶

会 長 新里 昌一

三、表 彰 功労表彰、永年勤続表彰（20年）、学術奨励賞論文賞、  
学術奨励賞特別賞、生涯教育ポイント取得上位者表彰

四、総会運営委員会報告

五、議長選任

六、書記選任

七、議事

- 1.報告事項 平成30年度事業報告について
- 2.第1号議案 平成30年度決算報告について
- 3.報告事項 平成30年度監査報告について
- 4.第2号議案 2019年度事業計画案について
- 5.第3号議案 2019年度予算案について
- 6.第4号議案 規程の改正
- 7.第5号議案 会員除名
- 8.第6号議案 名誉会員の推戴
- 9.第7号議案 その他
- 10.第8号議案 役員改選

八、議長解任

九、閉会の辞

副会長 平井 和子

## 平成 30 年度事業報告

### 総括

今年度は例年以上に豪雨・台風・地震等の自然災害が多かった。年末に発表された昨年の漢字も「災」となった。被災した各県技師会に対して、理事会で義援金を募り日放技を通じて送るようにした。東日本大震災及び原発事故から 8 年が経過した。9 月には県総合防災訓練があり、管理士を中心に住民やバスのスクリーニングを担当した。その 4 日後に北海道で大きな地震があり、訓練の大切さを感じた。県学術大会の一般公開講演でも災害に対する備えについて郡山市担当者からの講演を行った。

福島県原子力住民防災訓練は、1 月 26 日に雪積もる中で行われた。年々、規模が縮小される傾向にあり心配していることである。今回も緊急連絡体制の訓練や避難してきた住民やバスのスクリーニングを担当した。管理士部会には、今後は被ばく低減施設の推進もお願いしたい。

平成 30 年度は改選 2 年目を迎えて各活動を継続させた。本会は、事業計画に基づき各種研究会、研修会、各委員会が活動を行っている。各地区の健康まつりやピンクリボン活動等にも積極的に参加し、放射線の正しい知識や検診についての啓発活動を行った。昨年度から医療体験セミナーに初めて参加して、医療に関心のある県内中学生に放射線技師の仕事についての一部を紹介した。その中学生が大学受験を向かえる時期に、福島県立医科大学に技師養成を含む新学部が開校される予定である。久保教授にも色々のご協力頂き大変お世話になり感謝している。今後も、福島医大準備室とは良い関係を保って行きたいと考える。また毎回 WS メーカーにも機器提供をしていただき感謝している。

11 月には、県学術大会を星総合病院ポラリス看護学院メグレズホールで開催した。今年度は機器展示も 2 社に増えた。出席人数会員 142 名、県外 1 名、非会員 7 名、メーカー 16 名、一般（特別講演）1 名、学生 4 名、合計 171 名の参加人数であった。

また、第 8 回東北放射線医療技術学術大会が、盛岡市で開催された。前回から新しく学術奨励賞が設けられた。第 10 回東北放射線医療技術学術大会は、技術学会との共催で 2020 年 11 月 14-15 日にコラッセ福島で開催をする。実行委員等は県技師会から多数出して運営を行う予定である。私が大会長となり、福島医大付属病院の村上さんが実行委員長を務める。今後、企画・実行委員を選出して組織作りを行って行く。

また事務所拡充は WG を起ち上げて、事務所候補地を探し検討している。必要性について日放技ニュースで説明を行っている。公認会計士からも一定の評価をいただいた。

今年度は、統一講習会の影響もあり約 50 名の新入会員があった。新入会員も含めて県内の会員が満足するような事業の継続を目指して行きたいと考えている。なお、統一講習会の地方開催は 2019 年度で終了し、その後は東京の本部のみの開催となる。今後、更なる法律改正による講習の際には、今回の統一講習会の受講を終了したことが必要条件となる。会員には早めの受講をお願いする。

平成 30 年度も会員や賛助会員のご支援やご協力で、本会の事業を進める事ができた。これからも公益社団法人としての使命に務めて行くので、変わらないご支援をお願いする。

## 平成 30 年度事業報告

### 1. 定款に基づく事業

#### (1) 診療放射線技術の向上発展に関する事業

##### < 講演会・講習会等 >

##### 1) 第 31 回福島県臨床画像研究会 (共催)

開催日 平成 30 年 6 月 2 日 開催場所 星総合病院附属ポラリス保健看護学院

参加者名 会員 (技師会) 39 名、医師 12 名、賛助会員 4 名 合計 55 名

内 容 情報提供「造影剤に関する最近の話題」 バイエル製薬

一般演題

「実効エネルギーを考慮した造影パラメーターの検討」

福島県立医科大学附属病院 伊東 彩乃

「当院における Revolution CT の使用経験」

星総合病院 佐久間守雄

「SLE に合併した類もやもや病の検討」 福島県立医科大学附属病院 菊地歩那美

シンポジウム

「IQon スペクトラム CT より早く、より確実な診断を目指して」

フィリップス・ジャパン CT モダリティスペシャリスト 徳安 真一 氏

特別講演

「縦隔腫瘍における画像診断の役割」

名古屋大学大学院研究会 放射線医学分野 准教授 小澤 良之 先生

#### 2) 医療情報通信技術セミナー (MICS)

##### ①第 30 回 MICS

開催日 平成 30 年 4 月 28 日 開催場所 星総合病院附属ポラリス保健看護学院

参加者 13 名 (内会員 9 名、業者 4 名)

内 容 1 「施設がかかえる医用画像取り扱いについての問題点 II」

2 「医用画像における合意事項について考える」 星総合病院 続橋 順市

3 「最新情報 HW インフラ系と SW アプリ系のキーワードを押さえる」

GE ヘルスケア・ジャパン・デジタル事業部 大越 厚 氏

##### ②第 31 回 MICS

開催日 平成 30 年 8 月 10 日 開催場所 星総合病院附属ポラリス保健看護学院

参加者 15 名 (内会員 11 名 4 名)

内 容 テーマ「ぶっちゃけ、RIS ってどうなの？」

1 メーカープレゼン

コニカミノルタ メディカルソリューションズ株式会社

平川 英寿

株式会社ファインデックス

長谷川 諒

株式会社ジェイマックシステム

箱石 卓

2 ユーザー報告

「改めて思う、RIS の必要性 RIS が有る・無い施設での業務を経験して」

福島県保健衛生協会 遠藤 潤

「紙伝票運用から RIS へ 施設間異動で感じた RIS の良い点と問題点」

JA 福島厚生連 白河厚生総合病院 舟木 一夫

フリーディスカッション

星総合病院 続橋 順市

### ③第 32 回 MICS

開催日 平成 30 年 12 月 15 日 開催場所 星総合病院附属ポラリス保健看護学院

参加者 12 名 (内会員 9 名、業者 3 名)

内 容 テーマ「医療被ばく低減施設認定の取得にむけて」

1. 用語セミナー「診断参考レベル DRLs2015 と関連システム用語」

埼厚生病院 石森 光一

2. 技術セミナー「医療被ばく認定施設の取得にむけて」

竹田総合病院 鈴木 雅博

3. 施設紹介「読影体制と地域連携に関する問題点」

坪井病院 濱端 孝彦

4. New Topics 「FPD も Dual の地代へ ～CALNEO Dual のご紹介～」

富士フィルムメディカルルズ 岩田 清治 氏

フリーディスカッション

星総合病院 続橋 順市

### 3) 福島救急撮影カンファレンス

#### 第 9 回福島救急撮影カンファレンス (F E I C)

開催日 平成 31 年 3 月 16 日 開催場所 福島テルサ

参加者 114 名

内容 学術情報 富士フィルム富士化学

ワンポイントレッスン 造影 CT 編

枳記念病院 安倍 努

緊急 MRI 編

総合南東北病院 国分 美加

教育講演「緊急撮影こんな時どうする? しくじり先生 俺みたいになるな!」

福島県立医大病院 田代 雅美

FANTA 福島血管撮影技術セミナー コラボ企画

症例報告 IVR 認定技師が考える救急に係る技師と共有したい emergencyIVR

「ACS」

福島県立医大病院 角田 和也

「Trauma」

太田西ノ内病院 大原 亮平

特別講演「救急診療における放射線技師の発展を願って」

りんくう総合医療センター 坂下 恵治

### 4) Fukushima ANgio Technology seminAr

#### ①3ed Fukushima ANgio Technology seminAr

開催日 平成 30 年 6 月 9 日 開催場所 星総合病院附属ポラリス保健看護学院 3 階

参加者 118 名

内容 product introduction 「CT 用造影剤のご紹介」

富士製薬工業 山本 健氏

educational session 「脳神経～1 分間に 190 万個～」

太田西ノ内病院 大原 亮平

「放射線被曝～2Gy の影響～」

仙台医療センター 高橋 大樹

「心電図講座～1 年で 5%～」

福島県立医科大学附属病院 角田 和也

Practical session～Time is…～

「脳梗塞を“CT”でみてみよう」

南相馬私立総合病院 草野 雅人

「脳梗塞を“MRI”でみてみよう」

福島県立医科大学附属病院 金澤 崇史



参加者 60名

内容 シリーズ消化器疾患「肝臓編」 太田西ノ内病院 林 伸也  
基礎講演「胃型の理解、明日から使えるバリウムを流さないコツ！」  
会津中央病院 白岩 大輔  
症例検討会（アンサーパッドを用いて） 会津中央病院 本田 勝敏  
特別講演「読影のススメ 胃 X 線検査における背景粘膜を考慮した読影の仕方」  
宮城県対がん協会 がん検診センター副所長 加藤 勝章 氏

## 6) CT 分科会

### ①第 1 回福島県 CT テクニカルセミナー

開催日 平成 30 年 6 月 16 日（土） 開催場所 福島テルサ

参加者 99 名（内会員名）

内容 【情報提供】「非イオン性造影剤オプチレイ安全情報」 富士製薬工業

【CT ビギナーズセミナー】先輩が教える computed tomography

「装置編」View 数とそれに関連する因子について 福島県立医科大学附属病院 内沼 良人

「臨床編」知っておこう頭部 CT の基礎 総合南東北病院 白井 陽太

【シンポジウム】逐次近似応用再構成の使いどころ～ぶっちゃけ どうよ？～

「iDose4 の使い方 (PHILIPS)」 公立藤田総合病院 浅野 佳寿雄

「SAFIRE の使い方 (SIEMENS)」 常盤病院 橋本 英信

「ASiR の使い方 (GE)」 星総合病院 澁井 政人

「AIDER3D の使い方 (Canon)」 会津中央病院 齋藤 浩行

【特別講演】「ユーザーが語る。実際どうなの？FULL IR。」

新潟大学医歯学総合病院 放射線部門 副診療放射線技師長 能登 義幸

## 7) MRI 分科会

### ①第 18 回 MRI 技術研究会 & 第 16 回東北 MR 技術研究会

開催日 平成 30 年 7 月 21 日（土） 開催場所 コラッセふくしま

参加者 214 名

内容 「技術解説」～温故知新～最良な検査を施すためのポイントを探る

①「コイルの特性を理解して上手く使う」 篠田総合病院 相馬 幸治

②「時間短縮技術 (Parallel imaging) を上手く使おう」

秋田県立脳血管研究センター 高橋 一広

③「脂肪抑制技術を使い分けよう」 十和田市立中央病院 若本 淳

情報提供「効果的な頭部造影検査を施すために」 バイエル製薬 水沼 宣夫 氏

基礎講演「MRI が挑む核医学機能・形態検査の現状と特徴」

福島県立医科大学新医療系学部設置準備室・先端臨床研究センター 久保 均 先生  
シンポジウム MRI の機能（定量）・形態検査の現状

①「脳の検査（脳血流の評価）」 岩手医科大学付属病院 目時 毅

②「心臓の検査（心筋・血流評価）」 東北大学病院 木村 智圭

③「肝臓の検査（硬さと脂肪量の評価）」 新潟大学医歯学総合病院 齋藤 宏明

④「全身骨携帯検査（骨・腫瘍と DWBS）」 北福島医療センター 八巻 智也

⑤「その他 MRI による機能検査（定量評価）紹介」

シーメンスヘルスケア 市場 義人 氏

特別講演「肝臓診断におけるMRIの役割 現状と今後」

東京医科大学 放射線医学教室 齋藤 和博 教授

## ②県北地域勉強会

開催日 平成30年4月24日 開催場所 福島医大MRI室

参加者8名

内容：parallel imagingやPhaseFOVの使用の有無で、ssfseやfseにおけるblurringがどう変化するか各自の施設で試して話し合う

## ③第4回県南MRI技術研究会

開催日 平成30年6月1日 開催場所 星総合病院

参加者46名

内容 1. 施設紹介「星総合病院放射線科紹介と安全管理」

2. 特別講演「体内金属保有者のMRI検査」 キヤノンメディカル 淀 健治 先生

3. 施設見学

## ③県北地域勉強会

開催日 平成30年6月12日 開催場所 福島医大MRI室

参加者8名

内容：①前回データを撮像できなかった施設のデータについての議論

②前回の疑問点（FSEにおいて、ASSET、PFOVによってblurringが改善される理由）についての議論

## ④県北地域勉強会

開催日 平成30年7月31日 開催場所 福島医大MRI室

参加者8名

内容：SIEMENSのsenseの挙動が他社のsenseの挙動と異なっていたので、SIEMENSの装置のある施設で再実験した結果について検討

## ⑤県北地域勉強会

開催日 平成30年8月28日 開催場所 福島医大MRI室

参加者8名

内容：脂肪抑制技術について脂肪抑制について調べた内容をスライド形式で簡単に説明

## ⑥第5回県南MRI技術研究会

開催日 平成29年8月30日 開催場所 太田西ノ内病院

参加者40名

内容 1. 施設紹介「塙厚生病院放射線科紹介とMR安全管理について」

塙厚生病院 金澤 孝彦

2. 特別講演「整形外科領域の撮像技術について」

千葉県船橋整形外科病院（前 白河厚生総合病院） 城戸 修

3. 施設見学 太田西ノ内病院 SOMATOMO Drive

## ⑦県北地域勉強会

開催日 平成30年9月18日 開催場所 福島医大MRI室

参加者8名

内容：脂肪抑制評価用ファントムを作成

#### ⑧県北地域勉強会

開催日 平成30年10月16日 開催場所福島医大MRI室

参加者8名

内容：各脂肪抑制法における脂肪抑制率の評価（前回作成したラードのファントムを使用）

#### ⑨第6回県南MRI技術研究会

開催日 平成30年11月28日 開催場所 寿泉堂総合病院

参加者38名

内容 1. 施設紹介「放射線科紹介とMR安全管理について」 寿泉堂総合病院 七味 幸夫

2. ポジショニング紹介「当院のポジショニング時の工夫」

寿泉堂総合病院 木幡 大志

3. 特別講演「わかりやすいMRI信号の基礎」 キヤノンメディカル 淀 健治 氏

4. 施設見学

#### ⑩県北地域勉強会

開催日 平成30年12月12日 開催場所：福島医大MRI室

参加者8名

内容：内容：ラードを使った脂肪抑制ファントムのデザインと作成

### 8) 画像技術分科会

#### ①平成30年度福島県デジタル画像研究会

開催日 平成30年10月27日 開催場所 星総合病院ポラリス保健学院実習室

参加者32名

内 容 情報提供

「胸部X線およびCTの最新画像処理技術」 東洋テクニカ 河野 喜生 氏

「JESRA-X0093の改正ポイントおよび医用画像モニターの状況」

EIZO 小川 慈久 氏

ユーザーレポート {当院での一般撮影用FPDの使用経験}

星総合病院 佐々木 和哉

呉羽総合病院 窪田 洵

福島県立医大会津医療センター 泉田 健介

教育講演「DQEの基礎と実践」 ユニカミノルタ 松村 茂樹

特別講演「デジタル画像の画質評価」 公立館林厚生病院 奥村 晃由

#### ②第26回福島県画像技術研究会

開催日 平成31年1月19日 開催場所 福島テルサ

参加者49名（内会員39名）

内 容 情報提供「ビジパークの有用性」 第一三共株式会社 成谷光造

シンポジウム 医療機器メーカーのAI開発最前線

「Siemens HealthineersのAI技術への取り組みのご紹介」

シーメンスヘルスケア 松島 輝昌 氏

「Deep Learningによる画像再構成技術『AiCE』について」

キヤノンメディカルシステムズ 大西 輝法 氏

「富士フィルムが考える AI 『REiLI』 取組みのご紹介」

富士フィルムメディカルシステムズ 久永 隆治 氏

「GE における AI 技術の取組み」

GE ヘルスケア・ジャパン 大越 厚 氏

特別講演「放射線技師のための人工知能入門：基礎知識と研究の進め方」

藤田医科大学 准教授 寺本 篤司 先生

## 9) 乳腺画像分科会

### 第 18 回福島県乳腺画像研究会

開催日 平成 30 年 9 月 8 日 開催場所 ホテルバーデン

参加者 51 名 (内会員 48 名)

内 容 学術情報「オムニパーク注シリンジ 25 年のあゆみ」 第一三共株式会社

特別講演「マンモグラフィと超音波の総合判定について」

竹田総合病院 竹村 真生子先生

研究会「会津若松市乳がん検診の取組み」

竹田総合病院 松野 佳子

研究会Ⅱ「新製品 3D Dimensions の紹介」

ホロジックジャパン 阿部 孝子氏

「乳腺画像診断ワークステーションの現状」

ネットカムシステムズ 鬼頭 早織氏

「マンモグラフィ読影診断ワークステーション manmodite による製品管理」

実機による説明

ネットカムシステムズ

## 10) 放射線治療分科会

### ①第 39 回福島県放射線治療技術研究会

開催日 平成 30 年 6 月 3 日 開催場所 寿泉堂総合病院

参加者 46 名 (内会員 21 名)

内 容 メーカー講演

「SpaceOAR ハイドロゲルの紹介 前立腺がん放射線治療の副作用低減と QOL 改善」

オートグメニックス 倉谷 頼典 氏

特別講演「3次元の線量分布測定と解析を目指して ～ゲル線量計の現状と将来構想～」

自治医科大学附属病院 根本 幹央 氏

会員話題提供1「海外放射線治療施設 (エッセン大学) 視察報告」

南東北がん陽子線治療センター 加藤 貴弘

会員話題提供2

①福島県立医科大学附属病院 長澤 陽介

②福島県立医科大学附属病院 矢部 重徳

③大田西ノ内病院 庭山 洋

④白河厚生総合病院 原 美幸

会員話題提供3

①福島県立医科大学附属病院 佐藤 謙吾

②福島県立医科大学附属病院 矢部 重徳

③バリアンメディカルシステムズ 前田 摩樹

④福島県立医科大学附属病院 岡 善隆

### ②第 40 回福島県放射線治療技術研究会

開催日 平成 30 年 12 月 8 日 開催場所 南東北がん陽子線治療センター

参加者 38 名 (内会員 19 名)

内 容 メーカー講演 1 『ADAPTIBO の紹介』

千代田テクノ株式会社 山口 義樹 先生

メーカー講演2 『IGRTの線量の評価 -基礎事項から実際の管理-』

バリアンメディカルシステムズ 内田幸宏 先生

特別講演

『放射線治療用線量計の分離校正 -現場で知っておきたい対応を中心に-』

福井大学医学部附属病院 木下尚紀 先生

会員話題提供 1

- ①福島県立医科大学附属病院 三瓶 司
- ②福島県立医科大学附属病院 佐藤 謙吾
- ③太田西ノ内病院 庭山 洋
- ④南東北がん陽子線治療センター 遠藤 浩光

会員話題提供 2

- ①福島県立医科大学附属病院 岡 善隆
- ②南東北がん陽子線治療センター 真崎 敬大
- ③福島県立医科大学附属病院 山田 絵里佳
- ④福島県立医科大学附属病院 長澤 陽介

### ③第 41 回福島県放射線治療技術研究会

開催日 平成 31 年 3 月 31 日 開催場所 南東北がん陽子線治療センター

参加者 34 名 (内会員 20 名)

内容 メーカー講演 『SakuraProofのご紹介』株式会社川口電機製作所 岩下 敦 氏

会員話題提供 1

『どうしてですか？プランチェック ～県内施設からの現状報告～』

- ①福島労災病院 : 佐々木 亮浩
- ②竹田総合病院 : 早川 努
- ③南東北がん陽子線治療センター : 遠藤 浩光
- ④福島県立医科大学附属病院 : 山田 絵里佳
- ⑤北福島医療センター : 星野 勝
- ⑥太田西ノ内病院 : 長池 大和
- ⑦白河厚生総合病院 : 鈴木 広志

・会員話題提供 2

『海外放射線治療施設 (ミネソタ大学・メイヨークリニック) 視察報告』

福島県立医科大学 加藤 貴弘

・会員話題提供 3

- ①福島県立医科大学附属病院 : 岡 善隆
- ②南東北がん陽子線治療センター : 佐藤 啓樹
- ③福島県立医科大学附属病院 : 宮岡 裕一
- ④福島県立医科大学附属病院 : 穂積 若菜

・ 会員話題提供 4

- ①福島県立医科大学附属病院 : 佐藤 謙吾  
②太田西ノ内病院 : 庭山 洋  
③福島県立医科大学附属病院 : 長澤 陽介

11) 福島県放射線管理士部会

開催日 平成 30 年 8 月 25 日 開催場所 星総合病院附属ポラリス保健看護学院

参加者 20 名 (内会員 19 名)

内容 第 1 部 : 各種研究会参加報告

日本診療放射線技師会主催 「災害支援診療放射線技師研修会」

太田西ノ内病院 笹川 克博

放射線医学総合研究所主催 平成 29 年度「甲状腺簡易測定研修」に参加して

星総合病院 佐久間 守雄

第 2 部 : 医療被ばく低減施設認定をみんなで取得しよう

「一般撮影での取り組み」

竹田総合病院 工藤 靖之

「医療被ばく低減施設認定への取り組み」

福島労災病院 三浦智弘

特別講演「医療被ばく低減施設認定取得にむけて」

日本診療放射線技師会 医療被ばく低減施設認定チーフサーベイヤー 佐藤 寛之

12) 各地区協議会研究会等

①平成 30 年度 会津地区乳房研究会

開催日 平成 30 年 5 月 31 日

開催場所 竹田総合病院 総合医療センター画像診断センター

参加者 参加者 23 名 (内会員 16 名)

内容 ・平成 30 年度会津若松市乳がん検診について

・「乳がんの症例発表」

②第 96 回 会津画像研究会

開催日 平成 30 年 7 月 19 日

開催場所 会津医療センター

参加者 23 名 (内会員 23 名)

内容

1. 「オムニパーク注シリンジ 25 年の歩みについて」 第一三共 (株) 成谷 光造 氏

2. 「人工知能 (AI) の画像診断への展開」キヤノンメディカルシステムズ (株) 淀 健治 氏

③県南地区協議会サマーセミナー

開催日 平成 30 年 7 月 28 日 開催場所 ビックアイ (郡山市)

参加者 39 名 (内会員 21 名、賛助会員 12 名)

内容 「CT による Dual Energy Imaging」

「Dual Energy Imaging の基礎」

星総合病院 放射線科 澁井政人

「Canon CT Technology -Advanced Application Imaging-」

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 CT テクニカル部門 千葉雄高

「GE Gemstone Spectral Imaging の Update」

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 CT 営業推進部 山崎幸弘

「IQon Elite スペクトラル CT -Beyond the dual energy imaging-」

株式会社フィリップス・ジャパン CT モダリティスペシャリスト 小菌井剛  
「SIEMENS Dual Energy imaging -Expanding precision medicine-」

シーメンスヘルスケア株式会社 CT 事業部 プロダクトスペシャリスト 鈴木和明

④ 県北地区協議会夏季勉強会

開催日 平成 29 年 7 月 28 日 開催場所 ラパコふくしま

参加者 45 名 (内会員 30 名、賛助会員 14 名)

内容 「線量の適正管理はどうすればいいの？」

GE ヘルスケア・ジャパン 「Dose Watch」

EIZO 「Dose MANAGER」

バイエル 「Radimetrics」

⑤ 浜通り地区協議会夏季研修会

開催日 平成 30 年 9 月 8 日 開催場所 南相馬市立総合病院 2 階 多目的ホール

参加者 31 名 (内会員 29 名)

内容 情報提供 「キヤノン製品紹介」

学術研修会 「大腸 CT やりましょうよ 診療放射線技師がやるべき理由」

大原総合病院/イーメディカル東京 遠隔画像診断センター 鈴木雅裕

「超高精細 CT と面検出器 CT を用いた肺がん診療」

大原総合病院 森谷 浩史 副院長

⑥ 平成 30 年度 会津地区協議会交歓会

開催日 平成 30 年 9 月 28 日 開催場所 山鹿クリニック

参加者 12 名 (会員数 12 名)

内容 開会挨拶 診療放射線技師会について

会津地区協議会委員長 鈴木 雅博

教育セミナー 1. 「院内感染対策の基本」

第一三共株式会社 岩澤 利夫 氏

2. 「富士フィルムの X 線画像処理の変遷と最新画像処理技術について」

富士フィルムメディカル株式会社 岩田 清治 氏

⑦ 第 97 回会津画像研究会 & 第 40 回会津 MRI 研究会

開催日 平成 30 年 11 月 7 日 開催場所 会津中央病院

参加者 32 名 (会員数 29 名)

内容 演題 1 「線量管理システム Radimetric の紹介」

バイエル薬品 安達 恭幸 氏

演題 2 「ルーチン撮影の基本、何がある！」

○骨盤 (婦人科疾患) 領域

竹田総合病院 鈴木 梨紗

○脊髄領域

会津医療センター 伊藤 光希

○頭頸部領域

会津中央病院 小沼慎一郎

⑧ 県南地区新年勉強会

開催日 平成 31 年 1 月 26 日 開催場所 ビックアイ (郡山市)

参加者 34 名 (内会員 20 名、賛助会員 14 名)

内容 1. 超音波

フィリップス・ジャパン 下本 睦子 氏

2. CT

キヤノンメディカルシステムズ 大西 輝法 氏

3. 核医学

GE ヘルスケア・ジャパン 庄子 健一 氏

4. MRI

キヤノンメディカルシステムズ 菅野 康貴 氏

5. アンギオ

フィリップス・ジャパン 作田 啓太 氏

**⑦平成 30 年度県北地区協議会新年勉強会**

開催日 平成 31 年 1 月 26 日 開催場所 福島テルサ

参加者 24 名 (内会員 23 名)

内容 「一般撮影 関節変換 FPD 装置 CALNEO Dual 」

富士フィルムメディカルズ 野中 歩美 氏

「福島市における内部被ばく検査の概要」 福島市健康福祉部 武藤 伸彦 氏

**⑧平成 30 年度相双地画像勉強会**

開催日 平成 31 年 1 月 30 日 開催場所 ウエディングパーク原町フローラ

参加者 30 名 (内会員 26 名)

内容 福島医大診療放射線科学スキルアップセミナー

「福島県立医科大学保健科学部 (仮称) の開学に向けて」

「こんなときはどうする? MR の撮像条件を適切に生えるには」

福島県立医科大学 新医療系学部設置準備室・先端医療研究セミナー 久保 均 教授

**⑨第 98 回会津画像研究会**

開催日 平成 31 年 2 月 13 日 開催場所 竹田総合病院 総合医療センター 2 階

参加者 26 名 (内会員 24 名)

内容 演 題 1. 「非イオン性等浸透圧造影剤ビジパークの有用性について」

第一三共株式会社 成谷 光造 氏

2. 「大腸 CT 用バリウム製剤を使用した大腸 CT の紹介」

竹田総合病院放射線科 二瓶 陽子

3. 「Test Bolus Tracking 法による冠動脈 CT を経験して」

竹田総合病院 放射線科 太田 伸矢

**(2) 診療放射線に関する知識の普及啓もうに関する事業**

**1) 一般公開講演会 (主催)**

**①定時総会時の一般公開講演**

開催日 平成 30 年 5 月 26 日 開催場所 神楽想 (神楽スペース)

参加者 45 名 (内会員 45 名)

内容 「お悔みに関する豆知識」 フェーネラルプランナー 浅野 ひろみ 先生

**②学術大会前の一般公開講演**

開催日 平成 30 年 11 月 11 日 開催場所 星総合病院看護ポラリス学院メグレズホール

参加者 171 名 (内会員 142 名)

内容 「こんなときどうする 災害から身をまもりために」

講師 郡山市防災危機管理課 防災課長 熊田 重美 氏

**2) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2018 福島に広告掲載**

開催日 平成 29 年 8 月 25-26 日 開催場所 あづま総合体育館

**3) 健康フェスタ 2018 (福島市)**

開催日 平成 30 年 10 月 14 日 開催場所 MAX 福島

参加者 会員 6 名 ブース参加市民 約 200 名

#### 4) ファミリーフェスタ郡山 2018

開催日 平成 30 年 9 月 30 日 開催場所 ビックパレット福島

参加者 会員 4 名

#### 5) 第 34 回会津若松市健康まつり

開催日 平成 30 年 9 月 30 日 開催場所 会津若松市 文化センター

参加者 会員 5 名

#### 6) 乳がん啓発キャンペーン「ピンクリボン in 郡山 2018」

開催日 平成 28 年 10 月 14 日 開催場所 星総合病院・メグレズホール

参加者 7 名 (内会員 6 名)

#### 7) メディカルクルエーションふくしま 2018 (共催)

開催日 平成 30 年 11 月 18-19 日 開催場所 ビックパレットふくしま

##### (3) 診療放射線による検査向上および職業倫理の高揚に関する事業

##### 1) フレッシュアップセミナーの開催 (日放技からの業務委託)

開催日 平成 30 年 6 月 17 日 開催場所 太田西ノ内病院

参加者 30 名

内容 新人診療放射線技師を対象にして、医療者として必要な医療安全学、医療感染学、エチケット・マナー及び、診療放射線技師として知っておくべき基礎知識の講習を行った。

##### 2) 第 8 回東北放射線医療技術学術大会 (共催)

開催日 平成 30 年 11 月 3-4 日 開催場所 岩手県盛岡市

テーマ 「未来へつなぐ医療への架け橋 -放射線技術が診療に貢献できること-」

#### 4) 平成 30 年度福島県放射線技師学術大会の開催 (主催)

開催日 平成 30 年 11 月 11 日 開催場所 星総合病院ポラリス看護学院メグレズホール

参加者名 参加者名 171 名 (内会員 142 名、非会員 7 名、学生 4 名、賛助会員 16 名  
一般 1 名、県外 1 名)

内容 一般公開講演「こんなときどうする 災害から身をまもりために」

講師 郡山市防災危機管理課 防災課長 熊田 重美 氏

ランチョンセミナー「新たな包括的心臓 CT に必要な技術」

講師 華岡青洲記念心臓血管クリニック 診療技術部長 山口 隆義 先生

一般演題 25 題、機器展示 4 社

#### 5) 技師法改正に伴う統一講習会 (日放技からの委託事業)

県南地区 開催日 平成 30 年 8 月 4-5 日 開催場所 南東北がん陽子線センター 2 階

参加者 10 名

県北地区 開催日 平成 29 年 12 月 24-25 日 開催場所 大原総合病院

参加者 17 名

#### 6) 第 3 回 東北地区合同勉強会 (共催)

開催日 平成 30 年 8 月 18 日 開催場所 AER 仙台市中小企業活性化センター

参加者 会員 3 名 (代表者)

内容 0 から学ぼう! 乳腺 Part3

##### (4) 診療放射線技術を通じて地域医療の推進に関する事業

##### 1) X線アナライザー「ピラニア」とサーベイメーターの貸し出しと精度管理

事業内容 各地区ローテーションに加え随時貸し出し

## 2) 平成 30 年度福島県原子力防災住民避難訓練への参加

### ①平成 30 年度福島県総合防災訓練第 2 回全体会議

開催日 平成 30 年 7 月 10 日 開催場所 田村市総合体育館

参加者 会員 1 名

### ②平成 30 年度福島県原子力防災訓練に係る第 1 回関係機関会議

開催日 平成 30 年 7 月 18 日 開催場所 福島県危機管理センター（県庁北庁舎）

参加者 会員 2 名

### ②福島県総合防災訓練

開催日 平成 30 年 9 月 2 日 開催場所 田村市総合運動公園

参加者 5 名

### ③平成 30 年度福島県原子力防災訓練

開催日 平成 31 年 1 月 26 日 開催場所 郡山市カルチャーパーク

参加者 会員 13 名

内容 福島県原子力防災訓練での避難住民へのスクリーニング、大型バス測定等

## 3) 原子力安全協会 避難解除地域帰還者 WBC 想定結果説明要員の派遣

### ①田村市「平成 30 年度第 1 回 WBC による内部被ばく線量測定」

参加者 平成 30 年 6 月 10 日 開催場所 田村市都路町 地見城多目的集会施設

参加者 会員 1 名

### ②田村市「平成 30 第 2 回 WBC による内部被ばく線量測定」

参加者 平成 30 年 10 月 13 日 開催場所 田村市都路町

参加者 会員 1 名

## 4) 平成 30 年度多数傷病者対応訓練

開催日 平成 30 年 10 月 26 日

開催場所 富岡町総合スポーツセンター及びふたば医療センター附属病院

参加者 会員代表 1 名

内容 被災者のスクリーニングを実施

### (5) その他の目的を達成するために必要な事業

## 1) 第 7 回（平成 30 年度）公益社団法人福島県診療放射線技師会定時総会

開催日 平成 30 年 5 月 26 日（土）

開催場所 神楽想（神楽スペース）

内容 会員総数 651 名中、490 名（委任状 445 名）の出席で開催され、提案させた議案は全て原案通り可決された。

## 3) 理事会の開催

平成 30 年 6 月 29 日 平成 30 年度第 1 回理事会（太田西ノ内病院）

平成 30 年 9 月 6 日 平成 30 年度第 2 回理事会（太田西ノ内病院）

平成 30 年 12 月 7 日 平成 30 年度第 3 回理事会（太田西ノ内病院）

平成 31 年 3 月 8 日 平成 30 年度第 4 回理事会（福島県立医科大学附属病院）

2019 年 5 月 25 日 平成 31 年度第 5 回理事会（いわき市かんぼの宿）

## 4) 各地区協議会会議の開催

## ①全体会（総会）

平成 30 年 4 月 18 日 県南地区（ビックアイ） 出席者 20 名、委任状 154 名  
平成 30 年 4 月 28 日 会津地区（ホテル ニューパレス） 出席者 29 名、委任状 40 名  
平成 30 年 4 月 22 日 浜通り地区（いわき市総合保健福祉センター）  
出席者名、30 名、委任状 103 名  
平成 30 年 5 月 24 日 県北地区（福島県立医科大学附属病院）  
出席者 24 名、委任状 119 名

## ②地区協議会委員会

平成 30 年 4 月 22 日 第 1 回浜通り地区協議会委員会 (いわき市総合保健福祉センター)  
平成 30 年 4 月 28 日 臨時会津地区協議会委員会 (ホテル ニューパレス)  
平成 30 年 6 月 12 日 第 1 回県南地区協議会委員会 (南東北がん陽子線治療センター)  
平成 30 年 6 月 20 日 第 2 回浜通り地区協議会委員会 (南相馬市立総合病院)  
平成 30 年 7 月 11 日 第 1 回会津地区協議会委員会 (竹田総合病院 総合医療センター)  
平成 30 年 9 月 8 日 第 3 回浜通り地区協議会委員会 (南相馬市立総合病院)  
平成 30 年 9 月 13 日 第 1 回県北地区協議会委員会 (福島県立医科大学附属病院)  
平成 30 年 9 月 13 日 第 2 回会津地区協議会委員会 (竹田総合病院 総合医療センター)  
平成 30 年 12 月 4 日 第 2 回県南地区協議会委員会 (太田西ノ内病院)  
平成 30 年 2 月 27 日 第 3 回県南地区協議会委員会 (坪井病院)  
平成 31 年 2 月 27 日 第 4 回浜通り地区協議会委員会 (南相馬市立総合病院)  
平成 31 年 3 月 13 日 第 3 回会津地区協議会委員会 (竹田総合病院 総合医療センター)  
平成 31 年 3 月 日 第 2 回県北地区協議会委員会開催予定 (福島県立医科大学附属病院)

## 7) その他

### ①県原子力防災通信訓練

第 1 回通信訓練 開催日 平成 29 年 5 月 24 日  
第 2 回通信訓練 開催日 平成 30 年 8 月 7 日  
第 3 回通信訓練 開催日 平成 30 年 12 月 21 日  
第 4 回通信訓練 開催日 平成 31 年 1 月 21 日

## 8) 委員会の活動

### ①総務企画委員会

平成 31 年 2 月 22 日 委員会開催 平成 31 年度事業計画案・予算案の審議等

### ②表彰委員会

平成 30 年度（公社）日本診療放射線技師会 永年勤続（30 年）表彰者推薦  
平成 30 年度（公社）福島県診療放射線技師会 永年勤続（20 年）表彰の審議・決定  
（公社）福島県診療放射線技師会功労表彰者の決定

### ③学術委員会

日時 平成 30 年 11 月 30 日 開催場所 竹田総合病院  
平成 30 年度福島県診療放射線技師学術大会の開催・プログラム編集及び発送  
学術奨励賞各賞の選考

### ④ネットワーク委員会

福島県診療放射線技師会ホームページの更新作業（各研究会案内・求人依頼等）

各委員会及び各地区協議会メーリングリストの運営管理  
メールマガジンの発行

各委員会・各地区協議会の共有ファイルシステムの構築

#### ⑤精度管理委員会

Piranha の2 台体制での貸し出し開始（4 月 1 日～）

- ① Piranha Puremium ②Piranha657

地区ローテーションと貸し出し期間及び2 機種のパフォーマンスの違いを HP に掲載  
その他の測定器（電離箱、GM、シンチレーションサーベイメーターの貸し出し

#### ⑥編集広報委員会

会報の発行 第 55 号

福放技ニュースの発行 165-169 号

#### ⑦生涯教育委員会

フレッシュャーズセミナーの開催

技師法改正に伴う統一講習会の開催（2 回）

東北各県での統一講習会への講師派遣

県内各研究会での参加者チェックと日放技への申請等

#### ⑧災害対策委員会

平成 30 年度福島県総合防災訓練第 2 回全体会議

日時 平成 30 年 7 月 10 日 開催場所 田村市総合体育館

参加者 1 名

#### ⑨財務委員会

内部監査や中間監査、会計監査等

#### ⑩調査委員会

前年度からの調査の集計・分析

平成 30 年度県学術大会での調査報告の発表

### 9) 部会報告

#### 放射線管理士部会

平成 30 年度福島県原子力防災住民避難訓練への準備・参加  
避難指示解除地域の線量把握事業への協力

放射線利用に関する啓発活動

福島県原子力災害対策協議会への出席

### 10) ニュース・会報の発行

#### ①平成 30 年度 福島県診療放射線技師会ニュース発行

164 号 平成 30 年 5 月 25 日発行 巻頭言 鈴木副会長

165 号 平成 30 年 7 月 27 日発行 巻頭言 草野副会長

166 号 平成 30 年 9 月 28 日発行 巻頭言 平井副会長

167 号 平成 30 年 11 月 30 日発行 巻頭言 新里会長

168 号 平成 31 年 1 月 25 日発行 巻頭言 鈴木副会長

169 号 平成 31 年 3 月 29 日発行 巻頭言 草野副会長

#### ②会報発行

平成 31 年 3 月 31 日 第 55 号

## 11) 会員に対する表彰 (敬称略)

### ① (公社) 福島県診療放射線技師会 永年勤続 (20 年) 表彰

県北地区	松井 志穂	福島県保健衛生協会
	浅野 佳寿雄	公立藤田総合病院
県南地区	鈴木 博文	星富久山医院
	吉田 友彦	埴厚生病院
	三村 智道	坪井病院
	伊藤 敬	寿泉堂総合病院
	田中 優子	寿泉堂総合病院
	舟木 一夫	白河厚生総合病院
	角田 智高	福島県保健衛生協会県南地区センター
	国分 信二	総合南東北病院
会津地区	池田 健太郎	わかまつインターベンションクリニック
	小沼 慎一郎	会津中央病院
	小沼 牧子	坂下厚生総合病院
	長谷川 正士	坂下厚生総合病院
	森谷 辰裕	会津中央病院
浜通り地区	渡辺 俊介	呉羽総合病院
	高橋 和幸	いわき湯本病院
	河内 貴之	雲雀ヶ丘病院

### ② (公社) 日本診療放射線技師会 永年勤続 (50 年) 表彰 1 名

浜通り地区 山野辺 明 個人

### ③ (公社) 日本診療放射線技師会 永年勤続 (30 年) 表彰 7 名

県北地区	村上 克彦	福島県立医科大学附属病院
	八木 準	福島県立医科大学附属病院
	佐藤 勝行	福島赤十字病院
県南地区	白石 嘉博	星総合病院
浜通り地区	山崎 武	福島労災病院
	大竹 健司	大野病院附属ふたば復興診療所
	知々田 勝之	鹿島厚生病院

## 平成 30 年度学術奨励賞

- セッション I 「MRI 検査・その他」村山 滉治 (白河厚生総合病院)
- セッション II 「X 線 CT 検査」村松 駿 (大原総合病院)
- セッション III 「X 線検査・消化管検査・その他」佐藤 祐希 (福島県立医科大学附属病院)
- セッション IV 「血管撮影・放射線管理・その他」高村 豪 (竹田総合病院)
- セッション V 「核医学・放射線治療」千葉 沙織 (竹田総合病院)
- 新人賞 原田 崇臣 (南東北がん陽子線治療センター)

## 学術奨励賞論文賞

- ・ Polarity Corrected (PC) T1 prep tool を用いた T1 mapping の測定精度とその正確度について

福島県立医科大学附属病院 石川 寛延

- ・呼吸動態 CT のための独立音声指示装置の考案

大原総合病院画像診断センター 村松 駿

- ・診療放射線技師による読影補助の運用と精度の検証

星総合病院 続橋 順市

功労賞 伊藤 陸郎、片倉 俊彦

## 2.庶務報告

会員動向（平成 31 年 3 月 31 日現在）

正会員数	平成 30 年度当初	642 名
	平成 30 年度末	659 名
	入会	40 名（転入等含む）
	退会者数	14 名（転出など含む）
	名誉会員数	7 名
	賛助会員	24 社

第1号議案

貸借対照表

公益社団法人福島県診療放射線技師会  
全事業所

[税込] (単位:円)  
平成31年 3月31日 現在

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,773,490	359,520	1,413,970
未収金	552,000	380,000	172,000
前払費用	23,868	23,868	-
流動資産合計	2,349,358	763,388	1,585,970
2. 固定資産			
特定資産			
(事務所拡充積立資産)	-	18,600,000	△ 18,600,000
(特定費用準備資金積立特定資産)	19,600,000	-	19,600,000
(減価償却特定資産)	6,166,140	5,293,229	872,911
特定資産合計	25,766,140	23,893,229	1,872,911
その他固定資産			
什器備品	2,335,394	3,208,305	△ 872,911
電話加入権	40,000	40,000	-
長期前払費用	15,912	39,780	△ 23,868
その他固定資産合計	2,391,306	3,288,085	△ 896,779
固定資産合計	28,157,446	27,181,314	976,132
資産合計	30,506,804	27,944,702	2,562,102
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計	-	-	-
2. 固定負債			
固定負債合計	-	-	-
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	30,406,804	27,844,702	2,562,102
(うち基本財産への充当額)	-	-	-
(うち特定資産への充当額)	△ 25,766,140	△ 23,893,229	△ 1,872,911
2. 指定正味財産	100,000	100,000	-
(うち基本財産への充当額)	-	-	-
(うち特定資産への充当額)	-	-	-
正味財産合計	30,506,804	27,944,702	2,562,102
負債及び正味財産合計	30,506,804	27,944,702	2,562,102

## 正味財産増減計算書

[税込] (単位：円)

公益社団法人福島県診療放射線技師会	当年度		前年度		増減
	自 平成30年 4月 1日 至 平成31年 3月31日		自 平成29年 4月 1日 至 平成30年 3月31日		
<b>I 一般正味財産の部</b>					
<b>【経常収益】</b>					
<b>【特定資産運用収入】</b>					
特定資産運用利益	2,920		2,421		499
<b>【受取会費】</b>					
正会員受取会費	6,380,000		6,290,000		90,000
賛助会員受取会費	720,000		750,000 △		30,000
<b>【事業収益】</b>					
出版広報事業広告収益	140,000		140,000		-
学術研修事業広告収益	570,000		420,000		150,000
学術研修事業受講料収入	59,000		53,000		6,000
日放技業務受託料収入	139,680		78,800		60,880
福島県業務受託料収入	82,000		82,000		-
<b>【その他収益】</b>					
受取 利息	23		19		4
経常収益 計	8,093,623		7,816,240		277,383
<b>【経常費用】</b>					
<b>【事業費】</b>					
厚生 費	8,872		101,743 △		92,871
旅費交通費	260,040		302,308 △		42,268
通信運搬費	350,029		381,222 △		31,193
減価償却費	720,725		507,101		213,624
消耗品 費	71,395		156,511 △		85,116
修 繕 費	-		560,304 △		560,304
保 險 料	22,910		14,400		8,510
会 議 費	229,111		332,447 △		103,336
諸 謝 金	242,959		243,644 △		685
印刷製本費	1,173,312		1,043,172		130,140
広 報 費	394,871		443,773 △		48,902
支払負担金	10,000		10,000		-
支払助成金	60,000		120,000 △		60,000
事業費 計	3,544,224		4,216,625 △		672,401
<b>【管理費】</b>					
委託報酬手数料	402,168		506,388 △		104,220
会 議 費	254,501		311,993 △		57,492
旅費交通費	626,060		1,043,320 △		417,260
減価償却費	152,186		151,937		249
諸 謝 金	-		-		-
通信運搬費	124,637		170,931 △		46,294
消耗品 費	118,523		202,857 △		84,334
賃 借 料	96,000		96,000		-
諸 会 費	97,000		91,800		5,200
支払手数料	35,812		-		35,812
租税 公課	-		1,600 △		1,600
保 險 料	50,410		50,410		-
雑 費	-		68,860 △		68,860
管理費 計	1,957,297		2,696,096 △		738,799
経常費用 計	5,501,521		6,912,721 △		1,411,200
当期経常増減額	2,592,102		903,519		1,688,583
基本財産評価損益等	-		-		-
特定資産評価損益等	-		-		-
投資有価証券評価損益等	-		-		-
<b>【経常外収益】</b>					
<b>【経常外費用】</b>					
貸倒損失	30,000		-		30,000
他会計振替額	-		-		-
当期一般正味財産増減額	2,562,102		903,519		1,658,583
一般正味財産期首残高	27,844,702		26,941,183		903,519
一般正味財産期末残高	30,406,804		27,844,702		2,562,102
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
<b>【受取寄付金】</b>					
指定寄付金	-		-		-
当期指定正味財産増減額	-		-		-
指定正味財産期首残高	100,000		100,000		-
指定正味財産期末残高	100,000		100,000		-
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>30,506,804</b>		<b>28,848,221</b>		<b>1,658,583</b>

## 正味財産増減計算書内訳表

[税込] (単位: 円)

公益社団法人福島県診療放射線技師会

自 平成30年 4月 1日 至 平成31年 3月31日

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
【経常収益】			
【特定資産運用収入】			
特定資産運用利益	2,920		2,920
【受取会費】			
正会員受取会費	3,190,000	3,190,000	6,380,000
賛助会員受取会費	360,000	360,000	720,000
【事業収益】			
会報広告料	140,000		140,000
学術大会広告掲載料	570,000		570,000
生活習慣病検診従事者指導講習会受講料	59,000		59,000
日放技事務業務受託料	139,680		139,680
生活習慣病検診従事者講習会受託料	82,000		82,000
【その他収益】			
受取利息		23	23
経常収益計	4,543,600	3,550,023	8,093,623
【経常費用】			
【事業費】			
厚生費	8,872		8,872
旅費交通費	260,040		260,040
通信運搬費	350,029		350,029
減価償却費	720,725		720,725
消耗品費	71,395		71,395
保険料	22,910		22,910
会議費	229,111		229,111
諸謝金	242,959		242,959
印刷製本費	1,173,312		1,173,312
広報費	394,871		394,871
支払負担金	10,000		10,000
支払助成金	60,000		60,000
事業費計	3,544,224		3,544,224
【管理費】			
委託報酬手数料		402,168	402,168
会議費		254,501	254,501
旅費交通費		626,060	626,060
減価償却費		152,186	152,186
通信運搬費		124,637	124,637
消耗品費		118,523	118,523
貸借料		96,000	96,000
諸会費		97,000	97,000
保険料		50,410	50,410
支払手数料		35,812	35,812
管理費計		1,957,297	1,957,297
経常費用計	3,544,224	1,957,297	5,501,521
当期経常増減額	999,376	1,592,726	2,592,102
【経常外費用】			
貸倒損失		30,000	30,000
他会計振替額	-	-	-
当期一般正味財産増減額	999,376	1,592,726	2,562,102
一般正味財産期首残高			27,844,702
一般正味財産期末残高			30,406,804
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
【受取寄付金】			
当期指定正味財産増減額	-	-	-
指定正味財産期首残高	100,000	-	100,000
指定正味財産期末残高	100,000	-	100,000
正味財産期末残高			30,506,804

\*受取会費は公益目的事業会計(共通)に50%、法人会計に50%の割合で按分している

## 財務諸表の注記

公益社団法人福島県診療放射線技師会

平成31年 3月31日 現在

【継続企業の前提に関する注記】

該当事項なし

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、「公益法人会計基準」

(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会) によっています。

(1). 有価証券の評価基準及び評価方法

該当事項なし

(2). 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当事項なし

(3). 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産：定額法によっています。

(4). 引当金の計上基準

該当事項なし

(5). 消費税等の会計処理

免税事業者であるため、消費税等の会計処理は税込方式によっています。

【基本財産及び特定資産の増減額及びその残高】

[税込] (単位：円)

内容	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
事業所拡充積立資産	18,600,000	0	18,600,000	0
特定費用準備資金積立特定資産	0	19,600,000	0	19,600,000
減価償却特定資産	5,293,229	872,911	0	6,166,140
合計	23,893,229	20,472,911	18,600,000	25,766,140

【基本財産及び特定資産の財源等の内訳】

[税込] (単位：円)

内容	当期末残高	うち指定正味 財産からの充 当額	うち一般正味 財産からの充 当額	うち負債に対応 する額
特定資産				
事業所拡充積立資産	19,600,000	0	19,600,000	-
減価償却特定資産	6,166,140	0	6,166,140	-
合計	25,766,140	0	25,766,140	-

【担保に供している資産】

該当事項なし

【固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高】

[税込] (単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器・備品	8,501,534	6,166,140	2,335,394
事業所拡充積立資産	19,600,000		19,600,000
減価償却特定資産	6,166,140		6,166,140
合計	34,267,674	6,166,140	28,101,534

【保証債務等の偶発債務】

該当事項なし

【指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳】

該当事項なし

【関連当事者との取引の内容】

該当事項なし

【重要な後発事象】

該当事項なし

## 付属明細書

公益社団法人福島県診療放射線技師会

平成31年 3月31日 現在

【固定資産の増減内訳】

[税込] (単位: 円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
什器・備品	8,501,534	0	0	8,501,534	6,166,140	2,335,394
事業所拡充積立資産	18,600,000	0	18,600,000	0	-	0
特定費用準備資金積立特定資産	0	19,600,000	0	19,600,000	-	19,600,000
減価償却特定資産	5,293,229	872,911	0	6,166,140	-	6,166,140
合計	32,394,763	20,472,911	18,600,000	34,267,674	6,166,140	28,101,534

【借入金の増減内訳】

該当事項なし

【引当金の増減内訳】

該当事項なし

## 財 産 目 録

公益社団法人福島県診療放射線技師会  
全事業所

[税込] (単位: 円)  
平成31年 3月31日 現在

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
流動資産	現金預金	手元保管	運転資金として	70,350
		普通預金	運転資金として	1,629,119
		東邦銀行 福島医大病院支店	運転資金として	70,675
		貯金口座	運転資金として	3,346
		ゆうちょ銀行 仙台貯金事務センター 振替口座	運転資金として	3,346
	未収金	正会員未収会費 39名分	事業費及び法人運営	470,000
	福島県業務受託料	事業費及び法人運営	82,000	
	前払費用	サーバ使用料1年分	事業費及び法人運営	23,868
流動資産合計				2,349,358
固定資産	特定資産	特定費用準備資金	特定費用準備のための特定資産	19,600,000
		引当特定資産	減価償却資産の取替え更新のための積立	6,166,140
その他固定資産	減価償却特定資産	東邦銀行 福島医大病院支店	法人運営のため	2,335,394
		法人本部	事業費及び法人運営	15,912
		電話加入権	法人運営のため	40,000
固定資産合計				28,157,446
資産合計				30,506,804
負債合計				0
正味財産				30,506,804

写

## 監 査 報 告

公益社団法人 福島県診療放射線技師会  
代表理事 会長 新里昌一 様

私ども監事は、公益社団法人福島県診療放射線技師会定款第 26 条および第 45 条に基づき、平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務執行、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録について監査いたしました。その結果について下記の通り報告いたします。

### 記

1. 事業報告等の監査結果

事業は、事業計画に従い適正に施行されているものと認めます。

2. 貸借対照表、正味財産増減計算書等の監査結果

貸借対照表、正味財産増減計算書およびその附属明細書ならびに財産目録は、法人の財産および損益の状況について適正かつ正確に示していることを認めます。

以上

令和元年 5 月 13 日

監 事 齋藤 康雄 印

監 事 高橋 宏和 印

## 2019 年度事業計画（案）

### 総括

平成 30 年度は、各地で地震や火山噴火、豪雨災害があり各地に大きな被害をもたらした。日放技としても災害対策委員会を中心に情報収集や災害時の会費免除等の対応を行った。乳児らへの虐待など犯罪の見逃しを防ぐだけでなく、災害や事故による死因を特定するための「死因究明推進基本法案」が、議員立法での法案化が進んでいる。

2019 年度は、総会での役員改選を行い新体制での運営となる。各地区協議会から選出された会長・副会長はそれぞれ協力し合って活動を進めて行く。また 6 月には、合同委員会を開催して各委員会の新しい体制や運営について話し合う予定である。

県技師会の各事業は、常設委員会、専門分科会や部会、地区協議会が企画立案して進めて行くが、主だった行事は年間行事予定表に示した。この他にも多くの研究会や講習会があり、技師会のホームページを通じて情報発信する。ぜひ活用して、各事業や各種勉強会等への積極的な参加をお願いする。2019 年度の各分科会への助成は、必要な事業への助成を認めるように修正を行った。

平成 30 年度も、技師法改正に伴う業務拡大のため統一講習会が全国各地で行われた。今年度も県内で開催を予定している。なお 2020 年 3 月で終了する可能性も会員に伝えて行く。

2021 年 4 月には県内で技師養成大学設立される。技師会としても動向に関心を持ち、今後も協力や応援して行く事を継続して行く。

今年度も県学術大会を予定しているので会員からの演題登録をお願いしたい。また、継続している機器展示の規模拡大等も検討している。また、第 9 回東北放射線医療技術学術大会は、今年度は仙台市で開催されるのでこちらにも演題登録をお願いする。来年には、第 10 回の開催が福島市で行われる。技術学会と既に準備について検討を始めている。

会報や年 6 回発行される福島放技ニュースは、技師会の重要な情報発信の基礎になっている。より読みやすい紙面を検討中であり、会報表紙のカラー化を継続するが、学術大会後抄録のカラー化は財政難で難しい状態ではあるが今後も検討はして行く。また、福島放技ニュースの電子化も検討を行って行く。年間の発行が約 40 万円かかるため、電子化出来れば支出を抑えられる。ただネット環境にない会員の対応をどうするか検討が必要になってくる。また管理費-事業費比率が問題になるので、新たな事業も検討する必要がある。

放射線に対する正しい知識の啓発活動は、昨年同様に一般公開講座、各自治体での健康まつりへの参加、ピンクリボン活動等を通じて実施していく。また、福島県原子力防災住民避難訓練等に参加すると共に、緊急被ばく医療への貢献やスクリーニング要員の育成、災害時の緊急連絡体制の整備等を進めて行く。原子力防災訓練への長年の参加等の活動を通じ、県より原子力災害医療協力機関として登録が認められた。技師会の存在意義をアピールするチャンスなので、今後も多くの方に参加して頂きたい。県内の放射線サーベイチームとの協力関係も検討する。

また 2 年前より県の医療体験セミナーに参加して、医療に関心のある中学生に診療放射線技師の仕事についてブースを作り説明した。この活動は今後も継続して行くつもりである。

今年は刷新した執行部・理事のもとで、2019 年度の事業も計画通り進め、公益社団法人としての使命を果たし、放射線の正しい知識の啓発、県民の医療の向上に貢献して行く所存である。そのためには、会員の皆様のご理解、ご協力が不可欠であるので宜しくをお願いしたい。

## 第2号議案 2019年度事業計画 (案)

### 1. 定款に基づく事業

#### (1) 診療放射線技術の向上発展に関する事業

- 1) 技師法改正に伴う統一講習会 (開催協力)
- 2) 福島県 MRI 技術研究会の開催 (東北 MR 技術研究会と共催)
- 3) 福島県 CT テクニカルセミナーの開催 (CT ビギナーズセミナーより名称変更)
- 4) 福島県画像技術研究会の開催 (共催事業)
- 5) 福島県デジタル画像研究会の開催
- 6) 福島県乳腺画像研究会の開催 (共催事業)
- 7) 福島県消化器研究会の開催
- 8) 福島県放射線治療技術研究会の開催
- 9) 福島県診療放射線技師会学術講演会の開催 (共催事業)
- 10) 福島県臨床画像研究会の開催 (共催事業)
- 11) 福島県放射線管理士部会セミナー・研修会の開催
- 12) 各地区協議会主催研究会の開催
- 13) 第10回東北放射線医療技術学術大会の準備 (技術学会との共催)
- 14) その他、診療放射線技術の向上に関する事業
- 15) 福島医科大学新学部との相互協力関係の維持

#### (2) 診療放射線に関する知識の普及啓もうに関する事業

- 1) 県民に対する放射線被ばくや放射線診療に関する啓もう活動の実施
- 2) 各自治体が開催する「健康まつり」への参画
- 3) ホームページによる一般向け情報の提供
- 4) 医療体験セミナーでの中学生への診療放射線技師の活動紹介
- 5) その他、診療放射線に関する正しい知識の普及啓もうに関する事業

#### (3) 診療放射線による検査技術の向上および職業倫理の高揚に関する事業

- 1) 福島県診療放射線技師学術大会の開催
- 2) フレッシュアップセミナーの開催 (日本診療放射線技師会との共催事業)
- 3) 第9回東北放射線医療技術学術大会開催協力 (共催事業)
- 4) PET セミナー福島開催への後援
- 5) その他、診療放射線技師による検査技術向上及び職業倫理の高揚に関する事業

#### (4) 診療放射線技術を通じての地域医療の推進に関する事業

- 1) 福島県生活習慣病検診従事者指導講習会の開催 (福島県からの受託事業)
- 2) 各施設の X 線撮影装置の精度管理  
X線アナライザー「ピラニア」の貸し出しと精度管理
- 3) 福島県内における診療放射線技師の実態調査
- 4) 災害時緊急連絡体制の整備
- 5) 緊急被ばく医療防災事業への協力

①2019年度福島県原子力防災住民避難訓練に参加及び緊急時通信連絡訓練の参加

- ②避難解除地域帰還者の WBC 測定結果説明への要員派遣  
(原子力安全協会からの要請支援)
- ③福島県緊急被ばく医療活動マニュアル検討部会への参画
- ④緊急被ばく医療講座・研修会への参加
- ⑤避難退域時検査要員の育成と派遣
- 6) 乳がん啓発キャンペーン ピンクリボン活動への参加協力
- 7) 各市の乳がん検診読影会への参加協力
- 8) その他、診療放射線技術を通じての地域医療の推進に関する事業

#### (5) その他目的を達成するために必要な事業

- 1) 第8回(2019年度)公益社団法人福島県診療放射線技師会定時総会の開催
- 2) 理事会の開催(5回)、執行部会(1回)、各委員会の開催
- 3) 福島放技ニュース(6回)の発行と電子化の検討、会報(1回)の発行
- 4) 表彰及び他団体での表彰該当者の推薦
- 5) 会員数増加を目指す勧誘活動
- 6) ホームページによる会員向け情報の発信
- 7) ホームページによる求人情報の提供
- 8) 会員メールマガジン・各委員会メーリングリストの維持管理
- 9) 年会費納入の推進
- 10) その他、目的を達成するために必要な事業

以上

## 2019年度 年間行事予定表 (案)

下記行事は計画で、諸般の事情により変更する場合があります。

開催	(公社) 福島県診療放射線技師会	(公社) 福島県診療放射線技師会主催外
2019 年 4 月		日本放射線技術学会総会 (横浜)
5 月	定時総会・一般公開講座 (浜通り) 第 1 回理事会	
6 月	福島県 CT テクニカルセミナー 合同委員会 フレッシューズセミナー 第 2 回理事会 (太田西ノ内病院)	日本診療放射線技師会定期総会 全国会長会議 (日放技本部) 福島県臨床画像研究会
7 月	福島県 MRI 技術研究会 県南サマーセミナー 県北地区夏期勉強会	東北 MR 技術研究会 (新潟市)
8 月	放射線管理士セミナー	
9 月	第 3 回理事会 (太田西ノ内病院) 福島県乳腺画像研究会 統一講習会 浜通り地区夏期研修会	東北 CT 技術研究会 第 35 回日本診療放射線技師学術大会 (埼玉)
10 月	福島県消化器研究会 福島県デジタル画像研究会 救急撮影カンファレンス	日本放射線技術学会秋季学術大会 ピンクリボン in 郡山 第 9 回東北放射線医療技術学術大会 (仙台) 第 1 回東北会長及び教育委員合同会議
11 月	福島県診療放射線技師学術大会	福島県原子力防災訓練
12 月	第 4 回理事会 (太田西ノ内病院) 選挙管理委員会選出	
2020 年 1 月	福島県画像技術研究会 県南地区新年勉強会 県北地区新年勉強会	
2 月	福島県生活習慣病検診従事者講習会及び 消化器研究会 総務企画委員会 浜通り地区相双画像勉強会	第 2 回東北会長及び教育委員合同会議
3 月	第 5 回理事会 (医大)	

第3号議案 2019年度予算案について

2019年度 見込正味財産増減計算書

2019年4月1日～2020年3月31日

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
特定資産運用収入	10,000	10,000	0
特定資産運用収入			
受取会費			
正会員受取会費	6,300,000	6,200,000	-100,000
賛助会員受取会費	720,000	720,000	0
事業収益			
出版広報事業広告収益	150,000	150,000	0
学術研修事業広告収入	500,000	450,000	-50,000
啓もう普及事業収入	100,000	100,000	0
受取補助金等			
受取福島県助成金	82,000	82,000	0
受取負担金			
委託事業負担金	78,800	78,800	0
受取寄付金			
受取寄付金	10,000	10,000	0
雑収益			
受取利息	1,000	1,000	0
雑収入	1,000	1,000	0
経常収益 計	7,952,800	7,802,800	-150,000
(2)経常費用			
事業費			
会議費	450,000	350,000	-100,000
旅費交通費	300,000	400,000	100,000
通信運搬費	400,000	350,000	-50,000
減価償却費	500,000	720,000	220,000
印刷製本費	1,260,000	900,000	-360,000
広報費	200,000	323,000	123,000
消耗品費	200,000	50,000	-150,000
修繕費	350,000	100,000	-250,000
保険料	20,000	15,000	-5,000
厚生費	70,000	100,000	30,000
諸謝金	60,000	350,000	290,000
支払助成金	210,000	0	-210,000
支払負担金	98,000	0	-98,000
手数料	40,000	0	
雑 費	20,000	100,000	80,000
事業費 計	4,178,000	3,758,000	-420,000

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費			
委託報酬手数料	510,000	300,000	-210,000
会議費	450,000	248,000	-202,000
旅費交通費	1,000,000	500,000	-500,000
通信運搬費	250,000	120,000	-130,000
什器備品費	100,000	100,000	0
減価償却費	500,000	150,000	-350,000
消耗品費	300,000	125,000	-175,000
貸借料	100,000	96,000	-4,000
諸会費	100,000	100,000	0
人件費	40,000	40,000	0
保険料	60,000	50,000	-10,000
租税公課	5,000	0	-5,000
手数料	40,000	50,000	10,000
雑 費	20,000	30,000	10,000
管理費 計	3,475,000	1,909,000	-1,566,000
経常費用 計	7,653,000	5,667,000	-1,986,000
当期経常増減額	299,800	2,135,800	1,836,000
基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等			
投資有価証券評価損益等			
当期経常増減額	299,800	2,135,800	1,836,000
2. 経常外増減の部			
(2) 経常外収益			
経常外費用			
当期経常外増減額			
他会計振替額			
当期一般正味財産増減額	299,800	2,135,800	1,836,000
一般正味財産期首残高	1,000,000	359,520	-640,480
一般正味財産期末残高	1,299,800	2,495,320	1,195,520
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高		0	0
指定正味財産期末残高			
Ⅲ 正味財産期末残高	1,299,800	2,495,320	1,195,520

## 2019年度 収支予算内訳表

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
特定資産運用収入	10,000		10,000
特定資産運用収入			0
受取会費			0
正会員受取会費	3,150,000	3,150,000	6,300,000
賛助会員受取会費	360,000	360,000	720,000
事業収益			0
出版広報事業広告収益	150,000		150,000
学術研修事業広告収入	500,000		500,000
啓もう普及事業収入	100,000		100,000
受取補助金等			0
受取福島県助成金	82,000		82,000
受取負担金			0
委託事業負担金	78,800		78,800
受取寄付金			0
受取寄付金	10,000		10,000
雑収益			0
受取利息	1,000		1,000
雑収入	1,000		1,000
経常収益 計	4,442,800	3,510,000	7,952,800
(2)経常費用			
事業費			
会議費	450,000		450,000
旅費交通費	300,000		300,000
通信運搬費	400,000		400,000
減価償却費	500,000		500,000
印刷製本費	1,260,000		1,260,000
広報費	200,000		200,000
消耗品費	200,000		200,000
修繕費	350,000		350,000
保険料	20,000		20,000
厚生費	70,000		70,000
諸謝金	60,000		60,000
支払助成金	210,000		210,000
支払負担金	98,000		98,000
手数料	40,000		40,000
雑費	20,000		20,000
事業費 計	4,178,000	0	4,178,000

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
管理費			
委託報酬手数料		510,000	510,000
会議費		450,000	450,000
旅費交通費		1,000,000	1,000,000
通信運搬費		250,000	250,000
什器備品費		100,000	100,000
減価償却費		500,000	500,000
消耗品費		300,000	300,000
貸借料		100,000	100,000
諸会費		100,000	100,000
人件費		40,000	40,000
保険料		60,000	60,000
租税公課		5,000	5,000
手数料		40,000	40,000
雑費		20,000	20,000
管理費計	0	3,475,000	3,475,000
経常費用計	4,178,000	3,475,000	7,653,000
当期経常増減額	264,800	35,000	299,800
基本財産評価損益等			
特定資産評価損益等			
投資有価証券評価損益等			
当期経常増減額	264,800	35,000	299,800
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額	264,800	35,000	299,800
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	264,800	35,000	299,800

#### 第4号議案

##### 規程の改正について

会費納入規程第5条の3「本規程による会費の免除は、2ヶ年を超えないものとする。」を削除する。

理由： 長期の病気療養により2年を超える場合、5条の3によりその期間以後は会費請求がなされ、療養期間によっては除名の対象となりえる。免除期間中に退会の手続きを行うことで復帰後の入会が可能となる。更に会費未納による負債を少なくし、健全な会運営に繋がるため。

#### 第5号議案

##### 会員除名

下記の者、第8回（令和元年度）公益社団法人福島県診療放射線技師会定時総会での議決により除名処分とする。

会津地区協議会会員 山田 隆弘

平成28年度、平成29年度、平成30年度会費未納  
再三にわたる催促及び弁明の機会付与を行ったが無回答

#### 第6号議案

##### 名誉会員への推戴

理事会においてこれまでの顕著な功績により次の5名の会員を名誉会員に推戴致します。

県北地区協議会	伊藤 陸郎様
〃	片倉 俊彦様
会津地区協議会	馬場 栄二様
県南地区協議会	山村 稔 様
〃	齋藤 康雄様

#### 第7号議案

##### その他

#### 第8号議案

##### 役員改選

以上